

那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画（案）に対する
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 平成29年11月1日（水）から平成29年11月30日（木）まで
- (2) 意見提出者数 14人
- (3) 意見件数 63件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	1人	0人	1人	12人	14人

2 提出された意見要旨とそれに対する那須地域定住自立圏地域公共交通活性化協議会の考え方

那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画（案）に対する意見募集をした結果、圏域内住民のみなさんから御意見をいただきました。

これらの御意見と那須地域定住自立圏地域公共交通活性化協議会（以降、協議会とする）の考えは以下のとおりです。

番号	該当の頁	意見用紙	協議会の考え方
1	56 70	「きゅーび一号」の逆回り運行について。当該別荘地から広谷地へ出る公共交通がなく、広谷地から当該別荘地までは「きゅーび一号」の繭の里停留所下車にて徒歩利用が可能だが、逆方向へは湯本温泉周りで1時間を要する。往復バス利用が可能となれば、食料品の調達、東京へのバス利用等、安価で利便性が高くなり、定住に向けた意思も強く抱くことが出来る。 また、運営主体も観光協会から自治体運行への変更を希望する。	那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。
2	1 7	①「那須地域定住自立圏地域公共交通活性化協議会」や「市・町の交通会議」への住民参加を進めてほしい。特に公共交通を多く利用する学生や高齢者、現状をよく知っている長期勤務の運転手など。 ②第7次那須町進行計画では、町内に3つあるJR駅のうち、豊原駅が何の拠点にも入っていない。現在、豊原駅の利用者は少ないが、近隣には福島からの避難者も含め100世帯以上が暮らす東観別荘地があり、豊原駅から白河への通勤者もいる。JRの活性化にもつながり、	①ご意見として承ります。 ②那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。

	9	那須町デマンド型乗合交通の目的地停留所に追加してほしい。 ③那須町で「圏域外」との流動の内容は、主に、福島県西郷村・白河市からの通勤者と考えられ、県界を超えて経済圏を作っていることを付け加えてほしい。	③ご意見として承ります。
	2 1	④買物の流動でも圏外のほとんどは白河方面であり、経済圏が県界をまたいでいる。	④ご意見として承ります。
	2 7	⑤那須町内の J R 駅の 3 駅すべてバリアフリー化は進んでいない。階段の乗降が困難な高齢者や障害者の多くは駅の利用をあきらめている。上下線の入り口を別に設け、エレベーターの設置は無理でも、低額でバリアフリーに近づける改善策を自治体と J R で検討してほしい。	⑤那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。
	6 0	⑥那須地域定住自立圏拠点案の地域交通拠点案の地域交流拠点に J R 豊原駅を加えてほしい。	⑥定住自立圏内における地域交通拠点の定義にはあてはまらないため、拠点とは位置付けられません。
	6 5	⑦共通乗車券の発行について 那須町でも、町民バス・デマンド・きゅーびー号・東野バスに乗れる共通券等を発行してほしい。	⑦那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。
		⑧那須町デマンド型乗合交通、予約ワゴンバス等の交通機関が誰でも登録できることを宣伝してほしい。	⑧ご意見として承ります。
		⑨那須町の北部地域は、医療機関、商業施設はほとんどなく、県界を超えて白河方面に生活圏が多い。また、北部地域に立地するいくつかの施設、別荘地などは定住者も多いが高齢化に伴い、買物・医療難民になりつつあり、交通の不便さをきっかけに都会に戻る方も多い。	⑨ご意見として承ります。
		⑩ボランティアでデマンドを補完しているグループもいくつかあるが、高齢化に伴いドライバーの確保が困難になっている状況もある。	⑩ご意見として承ります。
		⑪公共交通の整備、コンパクトシティ化の対策が早急に必要だと思う。	⑪ご意見として承ります。
3	5 6	①「行政界を越えた公共交通網の形成」には大賛成。これまではともすると一自治体区域内だ	①ご意見として承ります。

	<p>けに目を向け、隣の町に買物に行かれると困るとかの発想があった。住民の生活圏に基づいて公共交通の設計をしてほしい。</p> <p>7 2 ②「シームレス」「わかりやすさ」「持続可能」の三つの目標を掲げている。どれも大事で賛成するが、比較的取り組みやすいのは「わかりやすさ」である。「交通マップ」「名称統一」「路線番号」などはすでに実施している地域が多い。広域マップも必要なのだろうが、恐らく高齢者の方には使いづらい。「行き方110番」のような部署を作り、どこからどこに行きたい時、そこに問い合わせれば最適な行き方を教えてもらえるようなサービスを企画できないか。</p> <p>1 9 ③通院者数を人口比で見ると 那須町 約 26,000 人 約 1,800 人/日 7% 那須塩原市 約 115,000 人 約 1,500 人 1.3% 大田原市 約 75,000 人 約 1,550 人 2% 買物客数の%でも 那須町 20% 那須塩原市 10% 大田原市 11% となり、数字に間違いが無いとすると、那須町の住民は通院にも買物にも驚くほどマメに出かけていることになる。そして通院については半数強、買物は半数弱が町外。つまり那須町は生活圏としては非常に弱いというか、自立できていないというか、町の外に出なければならない要素が多い自治体だと言える。高齢者が多いから通院者が多く、町に総合病院がないから黒磯などに行く。そして通院のついでにそこで買物をするということだと思う。那須町から菅間病院に行く直行便はなく、黒磯駅からバス又はタクシーまたは徒歩というのが現状。デマンド乗合交通が菅間病院に行くようになったので助かる方も増えていると思うが、東野バスが菅間などに寄ってくれば、利便性も高まるしバスの利用促進にもなる。東野バスの那須線は主として観光路線であって、住民のための生活路線ではないような路線経路である。病院そばに停留所を設けるとか、経路をもっと住民相手に</p>	<p>②目標 2 - 2 の事業において参考とさせていただきます。</p> <p>③ご意見として承ります。</p>
--	---	---

		<p>なるようなものにして、中型か小型バスの運行ができないものかと願っている。那須地域は訪れる観光客が多く、観光客・住民ともに使える公共交通というのは設計が難しい。ともすると数の多い観光客を主とした交通設計になりがちであるから、もっと住民の側に立った設計が必要。数値が示しているように、那須町の住民は他と比べて「外出」する必要性は圧倒的に高いのだから、その需要をどう吸収するかを考えるべきである。</p>	
	5 4	④「定住できる環境」というのは通院・買物の便の保証といったものがなければ達成不可能である。	④ご意見として承ります。
	6 6	⑤バス路線の重複解消を「改善」としているが、一日3往復の町民バスと一日3本のゆーバス、一日3往復の予約ワゴンバス、計6往復+アルファのバス路線である。ここには一日どれくらいの本数が必要なのかを実証してから、「重複」という話になるかと思う。図面で重なっているから「重複」だというのは早計だと思う。	⑤改善内容を検討する際の参考とさせていただきます。
	2 8	⑥P 2 8でバリアフリーが進んでいない現状が記されている。乗降客の少ない那須町のJR駅にはエレベーターが一基もない。高齢化が進む一方だから、費用対効果などと言っていないで、設置すべきものは設置するよう働きかけるべきである。	⑥那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。
	5 3	⑦P 5 3のタクシーの定額制は実験的に実施すべきである。タクシーがないと生活に困るが、費用を考えると何度も使えないのが現状。採算ラインはわからないが、那須地域は移動距離が長く、どうしても費用がかさむので、定額いくら、という提案は魅力的だと思う。	⑦ご意見として承ります。
5	5 6	<p>①基本方針1「行政界を超えた公共交通網の形成」について 那須町の北部地域は、白河方面に生活圏が多く、2市2町を超えての生活圏となっています。県外の生活圏においても公共交通を検討してほしい。</p> <p>基本方針2「気楽なお出かけ」について</p>	①ご意見として承ります。

	<p>外来者のみならず、文化的な生活を営み「定住」し続ける生活基盤となるので、乗り継ぎがスムーズでわかりやすいことで行動しやすくなる。バスに限らず、タクシー、デマンド型乗合交通など総合してみやすいものを作成してほしい。基本方針3「いつまでも安心して定住できる環境」について</p> <p>公共交通は最重要課題と思いますので、デマンド型乗合交通、相乗りの仕組み等に随時利用、当日予約など身体の変化に対応できるよう高齢者が利用しやすい内容にしてほしい。</p> <p>②「通院の流動」「交通手段」について</p> <p>那須町は総合病院がないので、総合病院への直行便は必須である。東野バスの菅間病院利用が可能であれば、さらに利便性があがる。北部地域は白河方面の病院利用が多いので「行政界」は県を超えることになる。各病院が運行している移送サービスの連携を検討してはどうか。</p> <p>定住、移住促進、人口増には移動手段の確保・保証は必須であり。優先的な取り組みをお願いしたい。</p>	<p>②ご意見として承ります。</p>
28	<p>③「駅施設のバリアフリー対応状況について」</p> <p>現在、バス・デマンド・JR等を乗り継いで移動しているが、那須町のJR駅にはエレベーターがなく、高齢者、障害者は工夫して移動しても利用しにくい状況である。高齢化は進む一方なのでエレベーター設置は必須と思う。</p>	<p>③那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p>
53	<p>④那須町の北部地域の生活では、タクシーを利用する回数が大変多い。タクシー利用料金を地域でまとめると新しい仕組みができるのではないかと思うので、定額制は大歓迎。その際、タクシーの採算性を利用者が理解することで、双方が納得しやすい定額制があるのではないかと思われる。</p>	<p>④ご意見として承ります。</p>
72	<p>⑤「わかりやすさ」については、「読む、見る、聞く」の方法があると思う。「聞く」について、どこからでも問い合わせ可能な総合的な案内先があると乗り換えや料金など判断しやすくなり利用が増えると思う。</p>	<p>⑤ご意見として承ります。</p>

		⑥那須町の北部地域では、否応なく県外が生活圏の一部になる。他地域でも同じような環境はあると思う。是非、「行政界を超えた公共交通網の形成」の立地状況を考え、県外にも広げてほしいと思う。	⑥ご意見として承ります。
1 1	6 8	<p>①町民バス、デマンドの改善では鉄道、町民バス、幹線バスとの接続強化が大切だと思う。デマンドとの乗り継ぎの際には高齢者の使いやすさを図るため、乗り継ぎ停留所が屋根付き、暖房付きであるなどの配慮が必要だと考える。デマンドの増便が不可欠だと思う。</p> <p>②広谷地、黒田原、イオンタウン、伊王野の交通のハブ化が大切である。乗り継ぎ、デマンドの増便で、もっと利用が増えるという好循環を生み出し、さらに、増便を図るといような流れをつくる必要がある。</p> <p>③デマンドにおいて町外、那須塩原市や大田原市への乗り入れが実現しないのはなぜか、原因はどこにあるか、明らかにし、それにみあった対策が必要である。白河方面への乗り入れも長期的に見て実現できると考えるので対策を始めることである。</p> <p>④タクシー会社との共存、共栄は可能であり、移動困難者への対応でタクシー会社と連携し、相互利益を図る工夫が可能ではないか。特に通院に限定して地元タクシー会社に委託してはどうか。</p> <p>民間バスと接続でも通院の利便性をはかることは共存、共栄につながる。</p> <p>効果的な接続と通し券の工夫などで菅間病院への通院が実現できるのではないか。</p> <p>⑤デマンド交通において観光と町おこしのための活用を促進すべきである。</p> <p>特に町内での観光パックの意欲的な取り組み、町内の観光地や観光施設の周遊を図る魅力ある企画を意欲的に進めてはどうか。</p> <p>⑥デマンド交通の登録を推進するための登録の手間の簡略化と、デマンドそのものの魅力を知らせる宣伝、周知がもっと必要である。</p>	<p>①那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p> <p>②那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p> <p>③ご意見として承ります。</p> <p>④ご意見として承ります。</p> <p>⑤ご意見として承ります。</p> <p>⑥ご意見として承ります。</p>

1 2	2 8 5 0 2 9 5 0 5 1 5 2	<p>①駅施設バリアフリー対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒田原駅は改札口からホームへの階段使用が大変である。那須町のデマンドの目的地駅は黒田原駅のみで、黒磯駅乗り入れが実現するまではE Vの設置は急務である。 <p>過渡的な対応として、友愛の森の拠点的作用を重視し、デマンドと路線バスの乗り継ぎを利用しやすいよう工夫してもらいたい。</p> <p>②地域公共交通の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド交通が基本的に他市町への乗り入れをしないことから、那須町は幹線フィーダーへのつながり（黒磯駅直通便の希望）、町外総合病院（町内にはない）への乗り入れができない不便さが続いている。直通ではなく黒田原駅経由という問題はあるが、菅間記念病院への乗り入れが実現したことを喜んでいる。利用者は病人である。さらなる利便性と利用者が多い日赤、国際医療2つの総合病院へのアクセスが便利になるような広域交通網の整備を希望する。そのためにもしつこいようだが、黒磯駅への乗り入れは不可欠である。タクシー業者、バス運行业者と引き続いての折衝を願ってやまない。那須町北部の幹線バスの利用に関しては、友愛の森道の駅を乗り継ぎ拠点とはっきり打ち出し、デマンド交通との連携改善を図ることで、バス利用者も増加するはずである。 <p>（道の駅内に、町役場にあるような停留所小屋を設け、交流の場所的空間にもなって楽しい）。幹線バスは主に観光客を対象にしているが、町民のコミュニティバスとしての役割を打ち出すことで、利用者が増えると思う。</p> <p>小型化のバスも配車して菅間記念病院への乗り入れ便をつくるなど、町に根差した運行路線を設けるなど企業努力の余地もあるのではないか。バスをもっと活用したい者の本音である。</p> <p>③課題の3・行政界を超えた移動ニーズへの対応</p> <p>「行政界の障壁を解消することが必要」とある</p> 	<p>①那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p> <p>②那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p> <p>③ご意見として承ります。</p>
-----	--	--	---

	<p>が、那須町住民が最も願っている中心点である。</p> <p>5 4 ④基本理念と基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「住み続けたい」「こもっていないでおでかけしたい」は高齢化社会にとって最も大切な理念だと思ふ。この方向での論議と実現化は、私たちの夢である。特に、基本方針の2「気軽なお出かけにも利用できる公共交通網の形成」は新しい視点だと思ふ。「文化的な行事にも行きたいけど行かれない」とつぶやく声をたくさん聴いてきた。 <p>映画館に気軽に行きたい、コンサートにも、夢の実現を期待してやまない。シームレス・わかりやすい・持続可能をキーワードに前向きな論議を望む。</p> <p>5 8 ⑤シームレスな公共交通網の実現</p> <p>可能な限りシームレスな公共交通網の実現、特に路線の相互乗り入れは、利用者の利便性に向けて、現状でもいくつかの改善点が考えられるように思う。</p> <p>7 0 ⑥民間バス路線事業の活性化</p> <p>デマンド交通と那須街道の民間バスは、乗り継ぎ拠点を整備することで、デマンド交通・民間バス双方とも利用者が増加すると思う(例道の駅(友愛の森)の拠点的役割を強める)。バス路線については、デマンド交通で菅間記念病院行きが加わったが、まだまだ利用者の細かなニーズ(曜日・時間など)に応えきれていない。何とか生活路線バスとして行政も援助しながら、開拓できないか。</p> <p>この「那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画(案)」を読み、ここに書かれた理念が実現すれば、私たち利用する立場の住民として、「この地域にみんなに住もうよ」と語り合いながら定住も可能かなと思えてきた。「いつまでここに住めるだろうか」が高齢期を迎えつつある私たちの懸念である。文化的側面も配慮していただいた内容の提案に、ニーズに合ったきめ細かさを感じている。</p>	<p>④ご意見として承ります。</p> <p>⑤ご意見として承ります。</p> <p>⑥ご意見として承ります。</p>
--	--	---

		<p>私はまだ家族の援助も含めて、車での移動ができています。周りの80代の高齢者の方々が、デマンド交通が毎日広谷地周辺に運行されるようになってから、自分で楽しそうに出かける姿をよく見るようになった。協議会で時間はかかったが、ようやく「行きたい買物に自分で行かれる」ことができる一歩が始まった。不十分な部分も、話し合いで少しずつ解決できるだろうと思う。いくつか、要望事項がある。</p> <p>⑦予約制度について 那須町は依然として前日予約となっている。朝の1便は無理でも、2便以降は当日予約にしてほしい。天候、体調、その他で当日にならないと決められない年齢の方が多い。当日になって断ると悪いからと、外出を手控える傾向があるのではないか。「業者との差異をつけるため」と説明を受けたが、善処可能なことだと思う。ちなみに、那須町のみ前日予約である。</p> <p>⑧県外乗り入れについて 那須町は福島県に隣接している。県をまたがって生活圏がある地域の方がいる。無原則的には言わないが、白河地域への乗り入れを限定的に認めてほしいと要望する。</p>	<p>⑦那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p> <p>⑧那須町地域内における公共交通の利便性向上と考えますので「那須町地域公共交通活性化協議会」へ進言いたします。</p>
13	50 ～ 55	<p>公共交通網形成に関わる予算、人員、期間等を最大限有効活用するためには、誰のための計画なのか優先順位をはっきりさせ、限られたリソースを投じる各種事業については、2市2町の住民・生活者がその恩恵を得られるものに絞って検討、実施されるべきと考える。観光客や観光産業の皆様に配慮し、雇用促進、交流促進を期すことも重要課題であるが、この計画においては、もっと直接的に、交通弱者の方々、具体的には、現在2市2町で現在生活していて車を利用できない高齢者や学生、傷病者の方々の公共交通網へのアクセスを容易にすることに注力すべきと考える。総花的な理念や方針に基づいて、観光客向け設備の拡充や「温泉等への住民の気軽なおでかけ」などをターゲットとするのではなく、2市2町の交通弱者の方々の「通</p>	<p>基本的には、2市2町の行政界を超えた「通勤」「通学」「通院」「買物」に利用できる公共交通網の形成を第一に目指しつつ、公共交通の確保維持のために、観光需要は無視できないものと考えています。</p>

		院、買物、通勤、通学」の利便性の向上にこそ、限られたリソースを集中投資するべきである。	
14	26以降	<p>①公共交通機関の現況ということであるが、利用時間・利用者数は分かるが、バス・タクシーの市町の収支はどうなっているのか。資料としては重要事項が欠落していると思う。</p> <p>②那須町では町民バスが2ルート2台、スクールバスが21台、管理している部署が違う為、まったく連携がない。那須塩原市でも、ゆーバス・予約ワゴンバス・スクールバス合わせて20台が運行していると思う。大田原市・那珂川町でもスクールバスが運行している。今回の案の中にスクールバスが入っていないのは何故か。</p>	<p>①地域バスの運行経費や民間バス路線への補助について、各市町の公共交通計画への記載の他、定住自立圏としての計画に明示すべきかどうか今後検討します。</p> <p>②スクールバスは、通学に不可欠な「暮らしの足」であると認識しております。ただし、運用的には、各学校の区域あるいは各市町の範囲における通学需要に応えるものであり、現時点での定住自立圏の交通計画において言及するものではないと考えています。</p>

自由意見（該当ページ指定なし）

番号	意見の要旨	協議会の考え方
4	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、多種のマップ、時刻表がありスムーズな行動に結びつかない。1つの冊子にまとまるとよいのではないか。 ・「いつまでも安心して定住できる環境」には、心身が弱い方への対応を基本とし、家の前までの送迎と当日予約が求められる。これにより経済効果とお出かけの確保、健康維持につながると思う。 ・那須町には総合病院がないため、総合病院への直行便は必須。病院をまわる乗合手段があってもよい。 ・「駅施設のバリアフリー対応状況」について、那須町においては、黒田原駅のエレベーター設置は急務。 ・那須地域は、観光客でなくとも、自然環境、温泉、レストラン、道の駅、イベントなど魅力的なものが多く、観光客ルートが公共交通手段と連結され、文化交流や温泉など地域資源を活用しやすくなればよい。 	<p>事業2-1-1の事業において参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見として承ります。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町デマンド型乗合交通の当日予約を希望する。 ・南部方面ルートの増設 北部地域から伊王野や芦野方面に行くルートの増設 	<p>ご意見として承ります。</p>

7	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町デマンド型乗合交通の当日予約を希望する。前日の予約締切時間を1時間延長し、18時までに改善してほしい。 ・那須町デマンド型乗合交通のダイヤをJR黒田原駅発着、東野バスと連動させ、通院、宇都宮等への遠出など、特に7時台の必要性を感じる。 	ご意見として承ります。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町北部地域から乗り換えなしで国際医療福祉大学病院や日本赤十字病院へ乗り換えなしに行ける交通がほしい。 ・那須町北部地域は、福島県の商圈、病院が近いため、新白河のイオン・メイシア・メガステージ、白河厚生総合病院へ行ける交通がほしい。 ・那須町デマンド型乗合交通の当日予約を希望する ・那須町デマンド型乗合交通で那須方面へイベントに出かけるのに日曜日にも運行してほしい。 ・目的地に行くためのわかりやすい案内があるとよい。 	<p>ご意見として承ります。</p> <p>事業2-1-1の事業において参考とさせていただきます。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町には総合病院がなく、国際医療福祉大学病院などを利用している。通院を乗り換えなしに行けるよう計画してほしい。 ・那須町デマンド型乗合交通の当日予約を希望する。 ・那須町北部地域の生活圏は、白河方面にあり、白河方面への乗り入れを検討してほしい。 	ご意見として承ります。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町デマンド型乗合交通の予約を当日予約にすることで、体調・天候の変化に対応する自由な生活が営め、経済効果、健康予防など目に見えない効果が期待されると思う。 ・町内の研修・公園・イベントなどは、日曜日に開催されることが多く、那須町デマンド型乗合交通の日曜日の運行は、他の曜日を1日交換してでも必要と考える。 ・那須町北部地域の生活圏は、白河方面が多いので、新白河駅までデマンドを乗り入れてほしい。 ・那須町役場周辺のバリアフリーの取り組みの一つとして、黒田原駅のエレベーター設置は急務。 	ご意見として承ります。